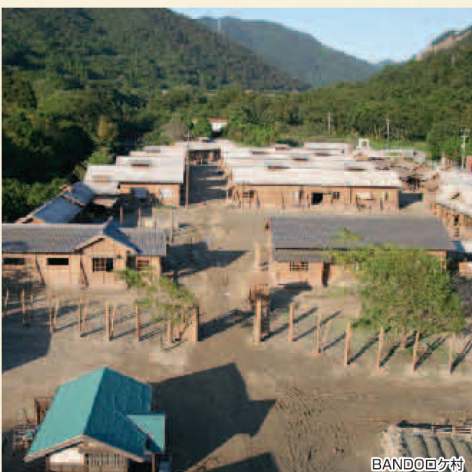


鳴門 パルトの楽園(ドイツとの交流)と鳴門の渦を巡る

1917年から1920年までの3年間、第一次世界大戦中捕虜となったドイツ兵は鳴門市の板東(ばんどう)にある「板東俘虜収容所」で暮らしました。板東では地元の人々とドイツ兵が友好的に交流し、ベートーヴェンの「第九」が日本で初めてこの板東の地で演奏されました。鳴門市ドイツ館には当時のドイツ兵俘虜たちの貴重な資料が数多く展示されています。また、映画「パルトの楽園」のロケも行われ、ロケセットが一般公開されます。ドイツと日本の民族を越えた結びつきが板東の地を出発点として、全市的な交流が始まりました。



BANDOロケ村

★①「パルトの楽園」BANDOロケ村～歓喜の郷～

2006年6月公開予定の東映映画「パルトの楽園」のロケ地として、ロケセットを鳴門市大麻町板東に建設。名称を「パルトの楽園」BANDOロケ村～歓喜の郷～とし、2006年3月21日より一般公開されます。

今も続くドイツとの交流

★②鳴門市ドイツ館

板東の人々は、牧畜、製菓、西洋野菜栽培、建築、音楽など、ドイツ人から指導を受けました。1993年に建設したドイツ館では、収容所の模型、映像、ドイツからの輸入品を備えたミュージアムショップや国際交流の展示などがあります。

■行き方: JR鳴門駅から鳴門市営バス大麻線で約20分(1日8便運行)、ドイツ村下車徒歩5分

四国八十八ヶ所霊場めぐりは「一番さん」から・・・

★③霊山寺(第1番札所)

弘法大師(空海)が修行として行脚した道のりをたどる四国八十八ヶ所霊場めぐり。その出発点で「一番さん」と呼ばれ親しまれているのが「霊山寺」。一年中、白装束に身を包んだお遍路さんで賑わっています。奈良時代に僧行基が聖武天皇勅願の道場として開基したと伝えられています。

■行き方: JR鳴門駅から鳴門市営バス大麻線で約20分(1日8便運行)、霊山寺前下車徒歩1分

鳴門といえぼうず潮

★④「渦の道」から眼下に渦をみる

「渦の道」は大鳴門橋の橋脚内に設置された全長450メートルの遊歩道。先端の展望室には眺望用のガラス板があり、4.5メートル下の渦潮をのぞけばスリル満点です。また瀬戸内海と紀伊水道の美しい景色も一望できます。「大鳴門橋架橋記念館」は大鳴門橋の完成を記念して建設されたドーム型の施設。架橋に関する資料のほか、ハイビジョン映像で躍動する渦潮を体験できる「うず潮劇場」や海中散歩を疑似体験できる「うず丸」などもあり、渦潮と大鳴門橋について楽しみながら学べます。豪快なうず潮を間近で見ると一層です。

■行き方: JR鳴門駅から鳴門市営バス鳴門公園線で約15分(1日14便運行)、鳴門公園下車



ドイツ館



霊山寺



渦の道

鳴門で世界の名画をみる

★⑤大塚国際美術館

世界初のセラミックアートミュージアムとして1998(平成10)年にオープンしました。古代から現代までの代表的な西洋名画が、原寸大で陶板へ忠実に再現されています。システーナ礼拝堂の天井画や壁画をはじめ、1000余点の名画が展示され、日本にいながら世界の美術館にいるような体験ができます。またボランティアガイドによる展示解説なども充実しています。

■行き方: JR鳴門駅から鳴門市営バス鳴門公園線で約15分(1日14便運行)、大塚国際美術館下車



大塚国際美術館

絵付け体験ができる大谷焼

★⑥大谷焼体験

江戸時代後期、豊後の焼物細工師・文右衛門が、大谷村の赤土で作ったのが起源とされています。今もその伝統は受け継がれ、身の丈ほどの水甕やすいれん鉢など、大物陶器の大きさとそれを焼く登り窯は日本一と評されています。大物陶器を作るために、足で蹴ってクロコを回す「寝クロコ」工法は大谷焼独特とされる伝統の技であり、2003年には国の伝統的工芸品の指定を受けました。最近では湯呑みなども多く作られ、素朴な味わいでファンも増えています。ほとんどの窯元で作業場や工程が見学でき、絵付け体験も楽しめます。

■行き方: JR鳴門駅から鳴門市営バス大麻線で約15分(1日8便運行)、大谷下車



大谷焼



鳴門のうず潮



●問合せ先

■鳴門市観光情報センター(高速鳴門バス停留所のそば):
電話(088)686-0743

■鳴門市経済部商工観光課:電話(088)684-1157
<http://www.city.naruto.tokushima.jp>

■大麻町商工会・大谷焼陶業協会:電話(088)689-0204

●交通機関連絡先

■鳴門市営バス:電話(088)686-9544

■徳島バス(株):電話(088)685-0115

■JR/バス:電話(088)652-6177

●コインロッカー情報 鳴門駅有

※上記の交通機関の便数・運賃は休日・祝日のものです。(2006年2月1日現在)